

山梨学習センター

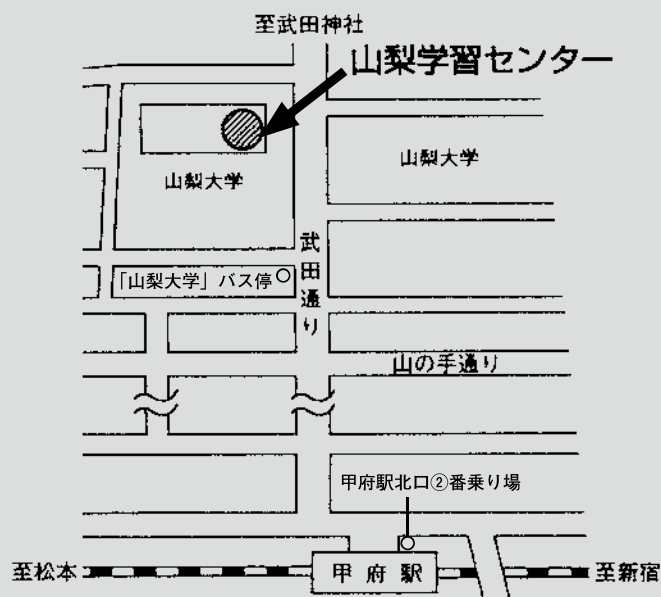
〒400-0016 甲府市武田4-4-37 (山梨大学甲府キャンパス内)
TEL. 055-251-2238

開所時間

面接授業開講日：9：10～17：40

授業概要・時間割表

- JR中央線甲府駅北口から徒歩20分
- 甲府駅北口バス停2番乗り場から「武田神社」又は「積翠寺行」バスで「山梨大学」下車 徒歩1分 (所要時間5分)



【開設科目・開講日一覧】

開設センター	科目区分	科目名	担当講師	科目コード	クラス	定員	4月			
							13日	14日	20日	21日
							土	日	土	日
山梨学習センター(19A)	基盤科目	新・初歩からのパソコン	服部 元信	2636220	K	3				
	基盤科目：外国語	言語活動から考える英語の表現	堀田 誠	2641992	K	40				
	基盤科目：外国語	中国語で遊ぼう	封 蓉	2642000	K	20				
	基盤科目：保健体育	頭と身体を動かす遊びの科学	木島 章文	2642018	K	20				
	導入科目：人間と文化	日本語学への招待	仲本康一郎	2642093	K	30				
	導入科目：人間と文化	現代からみる仏教	望月 海慧	2642026	K	35				
	導入科目：人間と文化	コミュニケーション学入門	大橋 理枝	2637979	K	40				
	導入科目：人間と文化	戦国合戦の虚像を剥ぐ	平山 優	2642034	K	40				
	専門科目：生活と福祉	福祉のこころ	山崎 百子	2642042	K	40			1~4 時限	1~4 時限
	専門科目：心理と教育	カウンセリング・スキル	田中健史朗	2642069	K	40			1~4 時限	1~4 時限
	専門科目：心理と教育	心理学実験2	小野田亮介	2636387	K	14				
	専門科目：心理と教育	心理学実験1	酒井 厚	2636360	K	20				
	専門科目：心理と教育	心理学実験3	酒井 厚	2636409	K	20				
	専門科目：心理と教育	カウンセリング基礎演習	吉川 眞理	2642050	K	30	1~4 時限	1~4 時限		
	専門科目：社会と産業	ワインの基礎知識	柳田 藤寿	2642077	K	20				
	専門科目：社会と産業	基礎から学ぶ組み込み系システム	鳥山 孝司	2642085	K	16				
	専門科目：社会と産業	SDGs下のアジア産業論	古橋 元	2636450	K	40				
	専門科目：人間と文化	文字を整えて美しく書く方法	宮澤 正明	2642107	K	20				
	専門科目：自然と環境	初歩の気象学	小林 拓	2642115	K	15				

5月						6月								7月				開設センター
11日	12日	18日	19日	25日	26日	1日	2日	8日	9日	22日	23日	29日	30日	6日	7日	13日	14日	
土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	
				1~4時限	1~4時限													
		1~4時限	1~4時限															
				1~4時限	1~4時限													
						1~4時限	1~4時限											
1~4時限	1~4時限																	
								1~4時限	1~4時限									
														1~4時限	1~4時限			
														1~4時限	1~4時限			
										1~4時限	1~4時限							
												1~4時限	1~4時限					
																1~4時限	1~4時限	
						1~4時限	1~4時限											
										1~4時限	1~4時限							
																1~4時限	1~4時限	
		1~4時限	1~4時限															
1~4時限	1~4時限																	

山梨学習センター(19A)

面接授業概要

科目コード	2636220	授 業 概 要	【授業内容】 これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWi-Fiへの接続方法、放送大学ウェブサイト、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 ワードによる文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目名	新・初歩からのパソコン		【成績評価の方法】 成績評価は、レポートの評点により行います。
科目区分	基盤科目		【受講者が当日用意するもの】 USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。）、学生証 授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ち下さい。
ナンバリング	110		【教科書】 ・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0）授業当日に配付します。
定員	3名		【参考書】 ・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0）PDF／ダウンロード方法は授業で説明します。
担当講師	ハトリ モトノブ 服部 元信 (山梨大学・教授)		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 『新・初歩からのパソコン』の電子版テキストの入力方法は授業で説明します。「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済みの方は登録できません。
日程 実施時間	5月25日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月26日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2641992	授 業 概 要	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター	山梨学習センター		本授業では、さまざまな言語活動を通して、聞き手を意識した英語の表現について考えます。受講者は、歌、早口ことばを通して英語に親しむ活動やインフォメーションギャップがある状況下で英語を用いてやりとりを行う活動に取り組みます。また、英語を用いたプレゼンテーションの作成と発表にも取り組みます。英語でのプレゼンテーションによる発表は、受講者の人数によって、個人での発表になる場合とグループでの発表になる場合があります。
学習センターコード	19A		【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション（受講者の英語による自己紹介を含む） 第2回 歌、早口ことばを通して英語に親しむ活動 第3回 情報のやりとりを中心としたコミュニケーション活動 第4回 聞き手を意識した英語プレゼンテーションの工夫 第5回 プレゼンテーション活動「地域の紹介」（構想） 第6回 プレゼンテーション活動「地域の紹介」（準備） 第7回 プレゼンテーション活動「地域の紹介」（発表） 第8回 まとめとふりかえり
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 受講者が言語活動を通してさまざまな英語表現を考え、身につけていく授業です。
科目名	言語活動から考える英語の表現		【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。活動に必要な表現は授業内で考えていきますので、事前に原稿などを作成して参加する必要はございません。
科目区分	基盤科目：外国語		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
ナンバリング	110		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末（ノートパソコンでの受講が望ましい。（ただし、プレゼンテーションソフトや文書作成ソフトが使用できるタブレット等の電子端末であれば、その電子端末を使用して受講することも可能です。） 2. OSの指定種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 3. ソフトのインストール、ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いません。プレゼンテーションソフトが必要です。PowerPointやGoogleスライド等種類は問いません。PDFファイルを開いて閲覧する場合がありますので、Acrobat Readerをインストールしておいてください。 4. その他、ソフトのバージョン指定はありません。文書作成ソフト（ワード等）及びプレゼンテーションソフト（パワーポイント等）が入っているパソコン（なお、そのパソコンで山梨学習センターのWi-Fi利用ができるように事前に申請を行ってください。）、USBメモリ（データのやりとりのため）、必要に応じて、英和、英英などの辞書（冊子体でも電子辞書でも可）、筆記用具
定員	40名		【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。
担当講師	ホッタ マコト 堀田 誠 (山梨大学・准教授)		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
日程 実施時間	5月18日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月19日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb（Zoom）授業で実施		

科目コード	2642000	授 業 概 要
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	中国語で遊ぼう	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	110	
定員	20名	
担当講師	ホウ ヨウ 封 蓉 (創価大学・非常勤講師)	
日程 実施時間	5月25日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月26日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施	
【授業内容】 初めて中国語を習う人々を対象に、日常会話を通して実用性の高い中国語を中心に授業を進めます。また、言葉や文化、生活習慣などの説明も織り交ぜながら、みんなで楽しく勉強できることを目指します。最後に中国語で会話ができるようになることを目標とします。		
【授業テーマ】 第1回 中国語ってどんな言語？中国語の基礎知識 第2回 中国語のピンイン：発音のポイント 第3回 私はボランティアです 第4回 何を食べますか？ 第5回 何個買いますか？ 第6回 どこですか？ 第7回 いかがですか？ 第8回 一緒に頑張りましょう！		
【学生へのメッセージ】 言葉は心の壁を除く道具です。授業中は失敗を恐れず、笑顔で大きな声で積極的に発音・発言しましょう。		
【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。		
【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び中国語の発表により行います。		
【受講者が当日用意するもの】 中日辞書をお持ちの方は、是非ご持参ください。		
【教科書】 授業当日にプリントを配付します。		
【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。		

科目コード	2642018	授 業 概 要
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	頭と身体を動かす 遊びの科学	
科目区分	基盤科目：保健体育	
ナンバリング	110	
定員	20名	
担当講師	キンマ アキフミ 木島 章文 (山梨大学・教授)	
日程 実施時間	6月1日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 6月2日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	山梨学習センター及び ★山梨大学学生会館多目的室 ※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施	
【授業内容】 老若男女、運動が苦手な方を対象とした授業です。骨や筋肉を鍛えるのではなく、楽しく技を学びましょう。内容は散歩とキャッチボールです。授業時間内に頭と身体に汗をかいてもらって、筋肉や骨を強くするだけでなく、それを動かす知恵を楽しく学んでもらえる時間にしたいです。		
【授業テーマ】 第1回 頭と身体の運動科学 第2回 散歩の楽しさって何だろう？ 第3回 キャッチボールの仕組みを頭で理解する 第4回 キャッチボールの仕組みを身体で理解する 第5回 頭と身体の学習の仕組み 第6回 ジャグリングの学習を身体で覚える 第7回 ジャグリング学習の仕組みを頭で理解する 第8回 頭と身体を使って世の中とつながるシステム設計		
【学生へのメッセージ】 講義は皆さんとのやりとりで進行させます。ぜひたのしくやりましょう！		
【受講前の準備学習等】 頭だけでなく、身体で理解する態度が必要です。体調を万全にして臨んでください。		
【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。		
【受講者が当日用意するもの】 運動できる服装と靴、万全の体調。		
【教科書】 授業当日にプリントを配付します。		
【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：保健体育」に該当します。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.17参照)		

科目コード	2642093	授 業 概 要	【授業内容】 世界の言語のなかで、日本語はどんな特徴を持っているのでしょうか。この授業では、日常生活で私たちがあたりまえに使っていることばを通して、日本語の音声、文字、語彙といった基本的なことばの成り立ちを学ぶとともに、方言と共通語、待遇表現、世代差、ジェンダーといった観点から社会的なバリエーションについても視野を広げて考えてみたいと思います。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 日本語の音声・音韻——気持ちを表わす 第2回 日本語の文字表記——イメージを伝える 第3回 日本語の語彙と表現 第4回 日本語の文法——文の成り立ち 第5回 日本人の言語行動 第6回 方言と共通語——ことばの地域差 第7回 若者語を考える——ことばの乱れ？ 第8回 ことばとジェンダー——社会を変革する！
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 ことばやコミュニケーションに興味のある人、日々の生活で何気なく使っている日本語について考えてみたい人、日本語学という学問に触れてみたい人、ことばの面白さをともに味わってみませんか。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 教科書にざっと目を通しておくと、主体的な学びができるのではないかと思います。
科目名	日本語学への招待		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
科目区分	導入科目：人間と文化		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
ナンバリング	220		【参考書】 ・言語学入門（斎藤純男／三省堂／¥2,310 / ISBN=978-4385364216）
定員	30名		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」、2008年度以前「共通科目」に該当します。
担当講師	ナカモト コウイチロウ 仲本 康一郎 (山梨大学・教授)		
日程 実施時間	5月11日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月12日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb（Zoom） 授業で実施		

科目コード	2642026	授 業 概 要	【授業内容】 本講義は、インドで始まり、中央アジアを経て東アジアまで伝播した仏教が、2500年後の現在においてどのような意味を持つのかについて講義します。それにより、仏教思想の知識を身につけるだけでなく、それが現代社会にどのように役立つものなのかという見地で仏教を学びます。また、日蓮宗の総本山である身延山久遠寺での朝のお勤め（朝勤・ちようごん）の体験学習や宝物館研修を通して仏教の歴史文化についても学びます。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 アジアにおける仏教の伝播（1） 第2回 アジアにおける仏教の伝播（2） 第3回 仏教思想の現代的意義（1） 第4回 仏教思想の現代的意義（2） 第5回 仏教実践の体験学習 第6回 仏教思想の現代的意義（3） 第7回 仏教思想の現代的意義（4） 第8回 宝物館研修
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 2日目の早朝（4時30分起床）身延山久遠寺にて朝勤の体験学習を行います。なお、開催地は山の腹に位置しているため、講義及び体験学習等の際は、片道約20分ほどの急な坂道や階段を徒歩により移動しますので、ご承知おきください。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 簡単な仏教の入門書を読んで、仏教に関する基本知識を身につけておいてください。
科目名	現代からみる仏教		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
科目区分	導入科目：人間と文化		【受講者が当日用意するもの】 参加費用：9,000円（宿坊の宿泊代1泊2食分です。）身延山大学（宿坊）までの往復交通費は自己負担となります。
ナンバリング	220		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	35名		【参考書】 ・仏教福祉と家族問題（身延山大学仏教学部／山喜房佛書林／¥770 / ISBN=9784796307918） ・アジアに広がる仏教（身延山大学仏教学部／山喜房佛書林／¥770 / ISBN=9784796307888） ・教養としての仏教思想史（木村清孝／筑摩書房／¥1,265 / ISBN=978-4480074300）
担当講師	モチツキ カイエイ 望月 海慧 (身延山大学・学長)		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
日程 実施時間	6月8日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 6月9日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議・レポート 16:15～17:00		【留意事項】 ・この授業は、時間を変更して実施します。・授業会場：身延山大学及び宿坊・宿泊場所：宿坊「樋澤坊」TEL 0556-62-0050・宿泊は、数人の相部屋になります。・受付：宿坊「樋澤坊」で行います。・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.17参照）・受講者には、5月初旬を目途に詳細について通知します。
実施会場	★身延山大学及び宿坊「樋澤坊」 ※不測の事態発生時はWeb（Zoom） 授業で実施		

科目コード	2637979	授 業 概 要	【授業内容】 「コミュニケーション学」の立場から人と人との間のやり取りを検討することでコミュニケーションに対する分析的な視点を提供することを目的とします。コミュニケーションのノウハウを扱う授業ではなく、放送授業「コミュニケーション論序説(‘07)」「日本語からたどる文化(‘11)」「日本語とコミュニケーション(‘15)」「コミュニケーション学入門(‘19)」で扱った内容の復習・発展を兼ねた講義が中心となります。 【授業テーマ】 第1回 コミュニケーションとは 第2回 非言語コミュニケーション 第3回 身体とコミュニケーション 第4回 服装・時間・空間とコミュニケーション 第5回 言語コミュニケーション 第6回 対人コミュニケーション1 第7回 対人コミュニケーション2 第8回 マスメディアとコミュニケーション 【学生へのメッセージ】 私たちがコミュニケーションをどのようにして成り立たせているのかを振り返ってみる機会にして頂ければと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・多文化共生のコミュニケーション(大橋理枝・根橋玲子/放送大学教育振興会/2024年度開講科目の放送授業の印刷教材です。 ・コミュニケーション学入門(大橋理枝・根橋玲子/放送大学教育振興会/¥3,080/ISBN=9784595319273) 【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 放送授業「多文化共生のコミュニケーション(‘24)」「コミュニケーション学入門(‘19)」「日本語とコミュニケーション(‘15)」「日本語からたどる文化(‘11)」「コミュニケーション論序説(‘07)」及び同一講師による面接授業「コミュニケーション学入門演習」「異文化間コミュニケーション」と内容が一部重複します。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	コミュニケーション学入門		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	210		
定員	40名		
担当講師	オオハシ リエ 大橋 理枝 (放送大学・教授)		
日程実施時間	7月6日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 7月7日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2642034	授 業 概 要	【授業内容】 戦国時代の合戦は、後世の軍記物や、講談などの影響により、実態とかけ離れたストーリーで語られています。本講座では、その虚像を検証しながら、実像を明らかにしていきます。 【授業テーマ】 第1回 上田原合戦、砥石合戦を読み解く 第2回 川中島合戦を読み解く(五回戦説の再検討) 第3回 三増合戦の歴史的意義 第4回 武田・徳川の今川攻めを検証する 第5回 三方原合戦を読み解く 第6回 長篠合戦を読み解く 第7回 小牧・長久手合戦を読み解く 第8回 戦国合戦の謎解きの困難さと可能性 【学生へのメッセージ】 戦国合戦のうち、東国で著名なものを選び、最新の研究成果をもとにお話しします。それぞれが持つ合戦のイメージがどのようにできあがり、それが再生産され続けてきたのかを留意しつつ、現在ではどのように考えられているかを史料をもとに検証します。 【受講前の準備学習等】 事前学習は不要ですが、興味があれば、様々な媒体で講義の対象となっている合戦を自分で調べてみてください。そのうえで講義を受けられると、さらに理解が深まると思います。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具など、通常の講義と同じです。 【教科書】 教科書は使用しません。 【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	戦国合戦の虚像を剥ぐ		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	40名		
担当講師	ヒロヤマ マサル 平山 優 (健康科学大学・特任教授)		
日程実施時間	7月6日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 7月7日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は開講		

科目コード	2642042	授 業 概 要	<p>【授業内容】 「福祉のこころ」と題し福祉のルーツを考えます。死生学から開始し福祉の哲学的考察を目的にアマルテア・センの考えを参考にします。福祉の実践面からICF (International Classification of Functioning, Disability and Health) の理念を参照し人間とは何かを考え人間関係論を展開します。最後に妥当な介入を求め行動科学の行動療法を中心とした臨床心理学でまとめます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 「福祉のこころ」のイントロダクションおよびオリエンテーション 講義全体についてのキーワード (種まき) 第2回 福祉からのサナトロジーその1 死とは何か 安楽死、尊厳死などについて 第3回 福祉からのサナトロジーその2 看取りについて 緩和ケア 死のリスクマネジメント 第4回 福祉の原点 アマルテア・セン等の先人たちの考えなど 第5回 ICF (International Classification of Functioning, Disability and Health) を通じて健康・障害・人間とはを考える 第6回 信じる事と信頼関係 社会福祉の原点 第7回 人対ヒトの人間関係について (アンガーコントロールを含むマネージについて) 第8回 行動科学を中心とした妥当な介入についてまとめる</p> <p>【学生へのメッセージ】 授業はパワーポイントで行います。2日間という限られた時間内での講義なので、不足分はパワーポイント資料にて自宅学習用として作成し、お渡しします。授業中不明な単語等は国語辞典、辞書などを持参し随時確認しても構いません。</p> <p>【受講前の準備学習等】 時事問題等に注意し世の中の流れについて考えてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 辞書類</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他 (特記事項)】</p>
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	福祉のこころ		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ヤマザキ モモコ 山崎 百子 (放送大学・非常勤講師)		
日程 実施時間	4月20日 (土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 4月21日 (日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施		

科目コード	2642069	授 業 概 要	<p>【授業内容】 この授業では、対人援助を行う際に必要となるカウンセリング・スキルの基礎について学習します。それはカウンセラー等の専門家が活用するものだけでなく、日常での心理的援助に活用できる理論を紹介します。様々な演習を通して、具体的なコミュニケーションを身に着けることと、それを支える理論を理解することを目指します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 対人援助の基礎 第2回 カウンセリングの基本的態度 第3回 探求段階のカウンセリング・スキル (講義) 第4回 探求段階のカウンセリング・スキル (演習) 第5回 洞察段階のカウンセリング・スキル (講義) 第6回 洞察段階のカウンセリング・スキル (演習) 第7回 行動段階のカウンセリング・スキル (講義) 第8回 行動段階のカウンセリング・スキル (演習)</p> <p>【学生へのメッセージ】 カウンセリング・スキルの演習を実施します (演習実施への配慮が必要な方はお申し出ください)。また、他者を否定せず、共感的・受容的に受講できる方を求めます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 これまでの対人援助経験を振り返っておいてください。授業中に発言を求めることがあります。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポートは後日提出ではなく、当日に課します。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 ワークシートへの記入を求めますので、筆記用具をご持参ください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・ヘルピング・スキル：探求・洞察・行動 (アクション) のためのこころの援助法 (クララ・E・ヒル/金子書房/¥11,000 / ISBN=9784760832590)</p> <p>【その他 (特記事項)】</p>
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	カウンセリング・スキル		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	310		
定員	40名		
担当講師	タナカ ケンシロウ 田中 健史朗 (山梨大学・准教授)		
日程 実施時間	4月20日 (土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 4月21日 (日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2636387	授 業 概 要	【授業内容】
学習センター	山梨学習センター		この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		心理学における基礎的実験として「記憶範囲」「メンタルローテーション」「要求水準」の3つを取り上げます。受講生の皆さんは、これらの実験に実験者あるいは参加者として取り組み、分析結果をレポートとしてまとめます。授業を通して、心理学の実験方法、データ分析の方法、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、全8回の授業にすべて出席し、3つの実験すべてについてレポートを作成・提出する必要があります。
科目名	心理学実験2		【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション：心理学実験とは 第2回 記憶範囲：実験 第3回 記憶範囲：データ分析・レポート作成 第4回 メンタルローテーション：実験 第5回 メンタルローテーション：データ分析・レポート作成 第6回 要求水準：実験 第7回 要求水準：データ分析・レポート作成 第8回 全体のまとめ
科目区分	専門科目：心理と教育		【学生へのメッセージ】 実験の実施とデータ分析、およびレポート作成にはパソコンを 사용합니다。基本的なパソコン操作（Word、Excelの計算や図表作成を含む）については、あらかじめ各自で習得していることが望ましいです。
ナンバリング	320		【受講前の準備学習等】 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。WordやExcelの基本的な操作について確認しておくことをお勧めします。インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
定員	14名		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実験課題への主体的な取り組みの状況、およびレポートの評点により行います。
担当講師	オノダ リョウスケ 小野田 亮介 (山梨大学・准教授)		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等） 3. ソフトのインストール ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。・Wordが必要です。・Excelが必要です。 4. その他 マウスを持参してください。
日程 実施時間	6月22日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 6月23日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は開講	【その他（特記事項）】 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。	

科目コード	2636360	【授業内容】 <hr/> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 <hr/> この授業では、心理学の基礎的な研究テーマを基に、実験心理学でよく使用される方法と考え方を学びます。具体的には、実験者や実験参加者として参加し、データを収集してそれを処理し、得られた結果とそこから考察できることをレポートにまとめるという、研究の一連の作業を学びます。研究テーマは「ミューラー・リヤー錯視」、「心理尺度」、「目撃者証言」の3種類です。8コマすべての授業に出席し、授業終了後に、3つすべての実験についてレポートを提出していただきます。 【授業テーマ】 第1回 心理学研究のやり方とレポートの書き方 第2回 ミューラー・リヤー錯視1：実験 第3回 ミューラー・リヤー錯視2：データの処理と解説 第4回 心理尺度1：実験 第5回 心理尺度2：データの処理と解説 第6回 目撃者証言1：実験 第7回 目撃者証言2：データの処理と解説 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 心理学の実験研究は、データを計算して結果にまとめる作業を伴うものです。授業での班活動やレポート作成のために、パソコンで文字・数字を入力することが求められます。皆さんが研究のプロセスを実際に体験しながら、心理学の奥深さを共に学んでいきましょう。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続はしないため、学習センターでの無線LAN利用申請等は不要です。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び学術レポートの評点により行います。レポートは期限を設定の上、後日提出していただきます。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。・Wordが必要です。・Excelが必要です。 4. その他・マウスの使用を推奨します。・ソフトのバージョン指定はありません。・ワードとエクセルが入っているパソコン・筆記用具・定規・グループ内でデータのやりとりをするので、USBメモリを必ず持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・心理学実験・研究レポートの書き方 学生のための初歩から卒論まで（B.フィンドレイ（細江達郎・細越久美子訳）／北大路書房／¥1,430／ISBN=9784762820465） 【その他（特記事項）】 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験 1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	サカイ アツシ 酒井 厚 (東京都立大学・教授)	
日程 実施時間	6月29日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 6月30日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15	
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は開講	

科目コード	2636409	授 業 概 要	【授業内容】
学習センター	山梨学習センター		この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		この授業では、心理学の基礎的な研究テーマを基に、実験心理学でよく使用される方法と考え方を学びます。具体的には、実験者や実験参加者として参加し、データを収集してそれを処理し、得られた結果とそこから考察できることをレポートにまとめるという、研究の一連の作業を学びます。研究テーマは「鏡映描写」、「ストループ効果」、「囚人のジレンマ」の3種類です。8コマすべての授業に出席し、授業終了後に、3つすべての実験についてレポートを提出していただきます。
科目名	心理学実験3		【授業テーマ】 第1回 心理学研究のやり方とレポートの書き方 第2回 鏡映描写1：実験 第3回 鏡映描写2：データの処理と解説 第4回 ストループ効果1：実験 第5回 ストループ効果2：データの処理と解説 第6回 囚人のジレンマ1：実験 第7回 囚人のジレンマ2：データの処理と解説 第8回 まとめ
科目区分	専門科目：心理と教育		【学生へのメッセージ】 心理学の実験研究は、データを計算して結果にまとめる作業を伴うものです。授業での班活動やレポート作成のために、パソコンで文字・数字を入力することが求められます。皆さんが研究のプロセスを実際に体験しながら、心理学の奥深さを共に学んでいきましょう。
ナンバリング	320		【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続はしないため、学習センターでの無線LAN利用申請等は不要です。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
定員	20名		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び学術レポートの評点により行います。レポートは期限を設定の上、後日提出していただきます。
担当講師	サカイ アツシ 酒井 厚 (東京都立大学・教授)		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません (Windows、macOS、ChromeOS等)。 3. ソフトのインストール・ブラウザはMicrosoft Edge (エッジ)、Google Chrome (クローム)、Mozilla Firefox (ファイアーフォックス)、Safari (サファリ) のいずれかが必要です。・Wordが必要です。・Excelが必要です。 4. その他・マウスの使用を推奨します。・ソフトのバージョン指定はありません。・ワードとエクセルが入っているパソコン・筆記用具 (黒鉛筆、赤鉛筆)・グループ内でデータのやりとりをするので、USBメモリを必ず持参してください。
日程 実施時間	7月13日 (土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 7月14日 (日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・心理学実験・研究レポートの書き方 学生のための初歩から卒論まで (B.フィンドレイ (細江達郎・細越久美子訳) / 北大路書房 / ¥1,430 / ISBN=9784762820465)
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は開講	【その他（特記事項）】 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義 (概論、研究法、統計学など) を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論 ('24)」、「心理学研究法 ('20)」、「心理学統計法 ('21)」を視聴してください。色識別を要する実験課題があります。	

科目コード	2642050	授 業 概 要	【授業内容】 心理療法におけるカウンセリングは、来談者がそれぞれに抱える生きづらさについての対話であり、対話の中でその解決が発見されていきます。ここでは、どのような問かけ、聴き方、返答が求められるのでしょうか？本演習ではカウンセリングの初心者を対象に、体験を通してカウンセリングの基本姿勢を学んでいくことをめざします。ペアワークにおいて、カウンセラー役、来談者役にチャレンジし、その経験についてふりかえり言語化する作業、事例について真摯に耳を傾け、ディスカッションに意欲的に参加していただくことを期待しています。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 心理療法におけるカウンセリングとは？ 第2回 対話としてのカウンセリング体験－語ることと聴くこと 第3回 カウンセリングの理論の確認と体験ワーク 第4回 援助的人間関係の倫理について 第5回 カウンセリングの実際を学ぶ 第6回 カウンセリング事例に関するディスカッション 第7回 カウンセリングによって心に生じるプロセスを理解する 第8回 ふりかえりとまとめ⇒学びの成果をまとめる
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 講義で学んだエッセンスについて日常生活や職場において活用することの制約はありませんが、体験ワークでのお互いの発言内容については、講義の外で決して話さないという守秘を守る方のみ受講してください。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 専門書を読む「学び」は、あとまわしでOKです。まずご自身の考える「カウンセリング」について、素朴に疑問に思うこと、質問を準備しておいてください。
科目名	カウンセリング 基礎演習		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
科目区分	専門科目：心理と教育		【受講者が当日用意するもの】 アイマスク、歩きやすい靴
ナンバリング	320		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	30名		【参考書】 よくわかるパーソナリティ心理学（吉川真理／ミネルヴァ書房／¥2,860／ISBN=9784623084036）
担当講師	ヨシカワ マリ 吉川 真理 (学習院大学・教授)		【その他（特記事項）】
日程 実施時間	4月13日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 4月14日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は開講		

科目コード	2642077	授 業 概 要	【授業内容】 ワインに関する基礎を学びます。ワインの原料である「ぶどう」、アルコールを造る「酵母」やワイン醸造法等の基礎知識や最新の日本ワイン情報を身につけていただきます。また、講義の後半には、実際のワイン醸造現場での学習も行います。さらに、ワインを美味しく味わうために、実際にワインのテイastingを体験実習します。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 ワインとブドウ 第2回 ワイン醸造と微生物 第3回 海洋酵母ワインと赤池幻酵母ワイン、開府500年スパークリングワイン 第4回 ワインと健康 第5回 日本ワインについて 第6回 ワインのテイastingについて 第7回 ワイン科学研究センターの説明と見学 第8回 ワインの保存方法及びワインを飲むときの正しいマナーについて
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 注1) 面接授業2日目最終講義終了後、ワインのテイastingの講習を行います。 注2) テイastingには受講者全員の参加を希望します。 注3) 20歳未満、車での来校者は受講出来ません。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目名	ワインの基礎知識		【成績評価の方法】 面接授業2日目第3時限に簡単なレポートを課し、その評点により行います。
科目区分	専門科目：社会と産業		【受講者が当日用意するもの】 テイasting代として、当日1,500円いただきますのでご用意ください。
ナンバリング	320		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	20名		【その他（特記事項）】
担当講師	ヤナギダ フジトシ 柳田 藤寿 (山梨大学ワイン科学研究センター・教授)		
日程 実施時間	6月1日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 6月2日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～14:35 識・レポート等 14:35～15:20 第4時限 15:30～17:00		
実施会場	山梨学習センター及び ★山梨大学ワイン科学研究センター ※不測の事態発生時はWeb（Zoom） 授業で実施		

科目コード	2642085	授 業 概 要	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 ----- 本科目では、身の回りにあふれている組み込み系システムについて学習キットを用いて基礎の基礎から学んでいきます。機能実現のために電子機器を組んで、それを制御するプログラムなどをしますが、予備知識は一切いりません。自分で組んで意図通りに動かすといった経験をしてみませんか？ 【授業テーマ】 第1回 組み込み系システムとは・開発環境の導入 第2回 LEDを光らせてみよう 第3回 スイッチで動作させるには？ 第4回 調光の仕組みを取り入れてみよう 第5回 プザーを使ってドレミの歌を鳴らしてみよう 第6回 温湿度センサーからデータを読み込む 第7回 液晶画面に表示してみよう 第8回 組み込み系システムをどんなところに使ってみたいか？ 【学生へのメッセージ】 理解度に合わせて進めるペースを調整します。操作方法など分からないことがあればその都度対応しますので、楽しんで学んでいきましょう。 【受講前の準備学習等】 マウス操作や文書入力程度の基礎的なWindowsの知識の学習。メールの読み書き程度ができれば十分かと思えます。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 Windowsが必要です。 3. ソフトのインストール Arduino IDEのインストールが必要です。当日インストールするので、インストールに必要な管理者権限を使えるようにしておいてください。 4. その他 ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。 【その他（特記事項）】 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。また、そのような本学の責によらない事情により受講ができなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。当日に、制御用のプログラムを行うためのソフトウェア（開発環境）をインストールします。その際、ノートパソコンの管理者権限が必要になります。良くわからないという方は予めご相談ください。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	基礎から学ぶ組み込み系システム		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	310		
定員	16名		
担当講師	トリアマ コウジ 鳥山 孝司 (山梨大学・准教授)		
日程実施時間	6月22日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 6月23日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は開講		

科目コード	2636450	授 業 概 要	【授業内容】 アジアの成長に加えてグローバル化が進む中で、新型コロナウイルス感染症の世界的流行が起こり、我々は多くの不確実性を重ねた複雑な世界にあって激動の変化の最中にあるといえます。アジアもその渦中にあり、また「国連のSDGs（持続的な開発目標）2030」を考慮した変化を迫られています。本授業では放送授業「SDGs下のアジア産業論（'23）」を補完する面接授業で、過去から現在、そしてコロナ禍も見据えて、グローバル化とは異なる動向や食料・農業を中心にアジアのこれからを展望する視点を提供したい。 【授業テーマ】 第1回 SDGs下のアジア産業論－SDGsについて－ 第2回 アジアにおける農業政策とその展望 第3回 日本の農・食品産業と海外展開 第4回 アジアと日本の食料消費市場 －アジアの所得階層と食料消費の変化－ 第5回 シフトする穀物等の国際市場構造と変化の胎動（1） －食料需給の視点から－ 第6回 シフトする穀物等の国際市場構造と変化の胎動（2） －穀物等の国際市場と台頭する新興国－ 第7回 アフターコロナに向けたSDGs下のアジアと日本が直面する課題 第8回 SDGs下のアジア産業論のまとめ 【学生へのメッセージ】 新型コロナウイルス感染症のパンデミックが起こり、世界およびアジアは多くの不確実性を重ねた激動の変化の最中にあります。私の専門である世界の食料需給や農業を中心に将来を見据えた視点をともに探求したい。 【受講前の準備学習等】 「SDGs下のアジア産業論」科目の内容から自己学習に努めてください。SDGsやアジアの農業・食料、世界の食料需給についての情報を収集しておくことをお勧めします。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具 【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。 【参考書】 ・SDGs下のアジア産業論（古橋元／放送大学教育振興会／¥3,960／ISBN＝9784595324130）本学の印刷教材 【その他（特記事項）】
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	SDGs下のアジア産業論		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	310		
定員	40名		
担当講師	フルハシ ゲン 古橋 元 (放送大学・教授)		
日程実施時間	7月13日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 7月14日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb（Zoom）授業で実施		

科目コード	2642107	授 業 概 要
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	文字を整えて 美しく書く方法	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ミヤザワ マサアキ 宮澤 正明 (山梨大学・名誉教授)	
日程 実施時間	5月18日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月19日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議論・レポート 16:15～17:00	
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施	
【授業内容】 情報化社会が定着し手書きの機会が減少する中、デザイン文字やデジタル文字などが書き文字の姿・形に変化をもたらそうとしています。本科目では、書き文字とデザイン文字やデジタル文字などとの違いを明確にし、1000年を超えて築かれてきた書き文字文化の伝統を再認識し、実技（毛筆を中心に）を通して文字を整えて美しく書く方法を考えます。 【授業テーマ】 第1回 漢字の成立について 書体の変遷 第2回 仮名の成立について 仮名の変遷 第3回 整った字形とは何か 第4回 デザイン文字やデジタル文字と書き文字の違い 第5回 書き文字の点画の書き方 第6回 字形を整えて美しく書くための原理・原則 第7回 毛筆による文字の書き方 ①楷書 ②行書 ③仮名 第8回 日常書式（はがき 手紙）の書き方 【学生へのメッセージ】 手書き文字が減少する中で、書き文字の意義を再確認しようという講座です。書を身近に感じたい、表現してみたい方、是非受講してみてください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、毎時の出欠、作品の提出物、レポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 書道用具一式（大筆・小筆、墨液、硯、半紙、下敷き、文鎮、新聞紙） 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】		

科目コード	2642115	授 業 概 要
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	初歩の気象学	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	15名	
担当講師	コバヤシ ヒロシ 小林 拓 (山梨大学・准教授)	
日程 実施時間	5月11日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月12日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議論・レポート 16:15～17:00	
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施	
【授業内容】 なぜ雨が降るのでしょうか？雨と雪は何が違うのでしょうか？雲の中の水滴は、なぜ落ちてこないのでしょうか？降水に限っても不思議なことがたくさんあります。そこで身近な自然現象である天気に関する仕組みについて学びます。また、雪の結晶成長実験を行い、降水に関する知見を深めつつ、自然の造形美に触れます。さらに、大気に関わる地球環境問題について理解を深めるとともに、担当講師の南極観測隊での体験を交えながら、南極と地球環境との関わりについて学びます。 【授業テーマ】 第1回 地球の大気の特徴 第2回 雨が降る仕組み（1） 第3回 雨が降る仕組み（2） 第4回 雪の結晶成長実験 第5回 風が吹く仕組み 第6回 寒暖が生まれる仕組み 第7回 大気に関わる地球環境問題 第8回 南極と地球環境 【学生へのメッセージ】 気象学を理解するためには物理学の知識が必要となりますが、なるべく数式を避けて平易に説明いたします。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・一般気象学（小倉義光／東京大学出版会／¥3,080／ISBN＝9784130627252） ・百万人の天気教室（白木正規／成山堂書店／¥3,630／ISBN＝9784425513529） 【その他（特記事項）】		